

**コンパクトなシステムから大規模設備まで、
用途に応じた柔軟なシステム構築に対応する新モデルを発売**

ヤマハ デジタルミキシングコンソール『DM5 シリーズ』

I/O ラック『R シリーズユーティリティ I/O』

ヤマハ株式会社（以下、当社）は、プロフェッショナルオーディオ機器の新製品として、デジタルミキシングコンソール『DM5 シリーズ』の『DM5』『DM5 Compact』と、I/O ラック『R シリーズユーティリティ I/O』の『RUio1608SB-D』『RUio0804-D』『RUio16FLX-D』を 2026 年 11 月から発売します。



『R シリーズユーティリティ I/O』（左）と『DM5 Compact』（中央）、『DM5』（右）

当社は、長年にわたりプロフェッショナルオーディオ機器を開発し、ライブ SR、設備音響、放送、演劇など、さまざまな現場の音響システムとワークフローを支えてきました。2023 年には、豊富な入出力と高い拡張性を備えた「DM7 シリーズ」と、ラインアップで最も軽量・コンパクトな「DM3 シリーズ」を発売しています。

このたび発売する『DM5 シリーズ』は、「DM7 シリーズ」で培った自然で透明感のあるサウンドやワークフロー、高い操作性と拡張性をコンパクトな筐体に凝縮したデジタルミキシングコンソールです。「DM7 シリーズ」と「DM3 シリーズ」の間に位置するモデルとして、用途やシステム規模に応じた新たな選択肢を提供します。

『DM5』と『DM5 Compact』をラインアップし、『DM5』は、2 つのフェーダーベイと 2 基の 13.3 インチマルチタッチスクリーンを備え、32 系統のアナログ入力、16 系統のアナログ出力、最大 60 入力チャンネルの信号処理に対応します。『DM5 Compact』は、1 つのフェーダーベイと 1 基の 13.3 インチマルチタッチスクリーンを備え、16 系統のアナログ入力、16 系統のアナログ出力、最大 48 入力チャンネルの信号処理に対応します。両モデルとも 96kHz で最大 64 入力／64 出力の Dante ネットワークオーディオに対応します。『DM5 Compact』は、『DM5』と同じ高さで奥行きを維持しながら幅を 446mm に抑えたコンパクトな設計を採用し、設置スペースが限られる現場や可搬性が求められる用途に適しています。

また、13.3 インチマルチタッチスクリーンを手の届きやすい位置に配置し、用途に応じて「Selected Channel View」画面と「Overview」画面を切り替えられる直感的なユーザーインターフェースを採用しています。さらに、外部機器との双方向制御やリモート操作に対応し、セットアップから本番運用まで効率的なワークフローを実現します。加えて、録音・再生、バーチャル・サウンドチェックや PY スロットによる I/O および信号処理機能の拡張、「Broadcast Package」「Theatre Package」による機能拡張など、幅広い用途に対応する機能を備えています。

同時に発売する『R シリーズユーティリティ I/O』は、用途や規模に合わせて入出力を柔軟に追加できる Dante 対応 I/O ラックです。『DM5 シリーズ』と組み合わせることで、現在の運用要件に対応しながら、将来のシステム拡張も見据えた音響環境を構築できます。

モデル名	品番	価格	発売時期
デジタルミキシングコンソール	DM5	オープンプライス	2026 年 11 月
	DM5 Compact	オープンプライス	
I/O ラック	RUio1608SB-D	オープンプライス	
	RUio0804-D	オープンプライス	
	RUio16FLX-D	オープンプライス	

<概要>

1. 「DM7 シリーズ」のワークフローを継承し、優れた音質と直感的な操作性をコンパクトな筐体に凝縮
2. ガラスキーを組み込んだ 13.3 インチマルチタッチスクリーンにより、迅速で確実な操作を実現
3. PY カード、機能拡張パッケージ、ソフトウェアにより、用途に応じた柔軟な機能拡張に対応
4. 「R シリーズ」I/O ラックにユーティリティモデルが加わり、規模や用途に合わせたシステム構築が可能

<主な特長>

1. 自然で透明感のあるサウンドと充実した信号処理機能

『DM5』と『DM5 Compact』は、当社のプロオーディオ製品が重視してきた自然で透明感のあるサウンドを基盤に、豊富なチャンネルプロセッシングと高品位なエフェクトを搭載しています。各入力チャンネルにはリアルタイムアナライザーを備えた 4 種類の EQ と 8 種類のダイナミクスを用意し、16 スロットのエフェクトラックには、リバーブやディレイ、モジュレーションなど 43 種類のエフェクトを搭載しています。

また、両モデルとも、24 Mix バス、12 Matrix、2 Stereo バス、12 DCA を備えるほか、18 チャンネルの USB オーディオ入出力、ミキサー制御用 RJ45 端子、音声再生用 Bluetooth に対応しています。



2. ガラスキーを採用した新しいユーザーインターフェース

13.3 インチのメインマルチタッチスクリーンには、デジタルミキシングコンソールとして世界で初めて*、触覚的に操作できるガラスキーを採用しました。ガラスキーは、ミキサーの状態に応じて表示内容が変化するダイナミックラベリングに対応し、パネルを複雑にすることなく、より多くの機能へ速やかにアクセスできます。さらに、ユーザーディファインドキーに使用できる 4.3 インチのカスタマイズ可能なタッチスクリーンと、4 つのユーザーディファインドノブを搭載しています。新たな「Dynamic Mode」は、選択チャンネル表示の操作対象に連動し、関連する機能のパラメーターを自動的に割り当てます。メインディスプレイは 4 段階の角度調整に対応し、設置環境の照明や、着席・立位といった操作姿勢に合わせて視認性を確保できます。

※デジタルミキシングコンソールにおけるガラスキーの採用として。2026 年 9 月 10 日現在、当社調べ。



ガラスキー採用の 13.3 インチマルチタッチスクリーン



メインディスプレイは 4 段階の角度調整に対応

3. PY カードによる信号処理と I/O の拡張

両モデルは PY カードスロットを搭載し、用途に応じたカードを装着することで、信号処理能力や入出力を拡張できます。新製品の『PY-DSP』を装着すると、「Premium Rack」で使用可能なエフェクトを最大 32 インスタンス追加できます。『PY-DSP』は「DM7 シリーズ」にも対応し、「Premium Rack Effect」のインスタンス数を拡張できます。

- ・「PY64-D」 : サンプルングレートコンバーター (SRC) を搭載した Dante インターフェースカード
- ・「PY64-MD」 : 64 チャンネルの MADI 入出力に対応
- ・「PY8-AE」 : D-sub 25 ピンコネクタによる 8 チャンネルの AES/EBU 入出力に対応
- ・「PY-MIDI-GPI」 : DIN 5 ピンおよび D-sub 15 ピンコネクタを介した MIDI/GPI 制御を追加
- ・「WSG-PY64」 : Waves Audio Ltd. 製のインターフェースカードで、Waves SoundGrid システムとの接続に対応

※「PY64-D」「PY64-MD」はサンプルングレートコンバーターを搭載しています。「PY8-AE」は入力側のみサンプルングレートコンバーターを搭載しています。



4. 用途に応じて追加できる機能拡張パッケージ

「Broadcast Package」は、Mix Minus や Audio Follow Video など、放送用途で求められる 7 つの機能を追加します。「Theatre Package」は、4 Bank EQ/DYN、Actor Library など、ミュージカルや演劇の運用を支える機能を提供します。

『DM5 シリーズ』は 12 チャンネルの Dugan オートマチックミキサー機能を標準搭載しています。追加の「Dugan Automixer License」により、『DM5 Compact』は 40 チャンネル、『DM5』は 60 チャンネルまで拡張でき、大規模な会議やカンファレンスにも対応します。ライセンスは「PV Portal」アプリケーションで有効化し、1 つのライセンスを複数の対応コンソール間で有効化・無効化できます。

5. 用途に合わせて選べる『R シリーズユーティリティ I/O』3 モデル

『R シリーズユーティリティ I/O』は、『DM5 シリーズ』のほか、「DM7 シリーズ」「DM3 シリーズ」「RIVAGE PM シリーズ」と組み合わせて使用できる Dante 対応 I/O ラックです。小規模システムへの入出力追加から、拡張性が求められる設備音響まで、用途に応じて選択できる 3 モデルをラインアップしています。

●ステージボックス型『RUio1608SB-D』

16 系統のアナログ入力、8 系統のアナログ出力、Dante Primary/Secondary ポートを備えたコンパクトなステージボックス型 I/O です。ステージ上での使用を想定したラバープロテクターとキャリングバーを備え、持ち運びや設置時の利便性を高めています。オプションのラックマウントキットにも対応します。

●1U サイズの『RUio0804-D』

8 系統のアナログ入力、4 系統のアナログ出力、Dante Primary/Secondary ポートを 1U サイズの筐体に搭載しています。必要な入出力をコンパクトに追加でき、ライブ SR、設備音響、企業イベントなど、幅広い用途に対応します。

●入出力構成をカスタマイズできる『RUio16FLX-D』

16 チャンネルの入出力を 2 チャンネル単位で、アナログマイク/ライン入力、アナログ出力、AES/EBU 出力のいずれかに柔軟に設定できます。Dante 入出力にも対応し、用途やシステム規模の変化に応じた柔軟なシステム構築を支援します。



左から『RUio1608SB-D』 『RUio0804-D』 『RUio16FLX-D』

6. 共通ワークフローを支えるソフトウェア

Windows および Mac 対応の「DM Editor」は、オフラインでのセットアップと編集、オンラインでのバックアップ管理に対応します。『DM5 シリーズ』と「DM7 シリーズ」の双方で使用でき、コンソールファイルは互換性があるため、スムーズなデータ交換が可能です。また、「DM StageMix」と「MonitorMix」は会場内からのリモート操作に対応し、「ProVisionaire Control Plus」は、用途に合わせてカスタマイズできるコントロール環境を提供します。

※アップデート後、「DM7 StageMix」は「DM StageMix」に名称を変更します。「DM StageMix」は「DM7 シリーズ」のファームウェア V2.0（9 月 10 日公開）以降に対応します。

詳しい仕様は下記製品ページをご覧ください。

『DM5 シリーズ』 <https://jp.yamaha.com/products/proaudio/mixers/dm5/index.html>

『R シリーズユーティリティ I/O 』 <https://jp.yamaha.com/products/proaudio/interfaces/index.html>

<関連オプション>

モデル名	品番	価格	発売時期
オーディオプロセッシングカード	PY-DSP	オープンプライス	2026 年 11 月
ラックマウントキット	RK5	オープンプライス	
	RK-RUio1608SB	オープンプライス	
ソフトウェアパッケージ 「Dugan Automixer License」	DEK-DUGAN	オープンプライス	
ソフトウェアパッケージ 「Broadcast Package」	DEK-BR	オープンプライス	
ソフトウェアパッケージ 「Theatre Package」	DEK-TH	オープンプライス	

<イベントについて>

導入ご検討の方を対象に、今回の新製品をご体験いただけるイベント「Yamaha Music Japan Pro Audio Day 2026」を開催いたします。会場では、ホール内に設置した『DM5 シリーズ』によるデモンストレーションのほか、新製品展示コーナーを設け、ヤマハプロオーディオ製品を直に触れながら、その魅力や機能をご体験いただけます。

日時・場所：

- 東京会場「ヤマハ銀座スタジオ」（東京都中央区銀座 7-9-14）

2026 年 10 月 14 日（水）

1 回目：10:00 開場 10:30 開演 12:30 閉場

2 回目：13:00 開場 13:30 開演 15:30 閉場

3 回目：16:00 開場 16:30 開演 18:30 閉場

2026 年 10 月 15 日（木）

1 回目：10:00 開場 10:30 開演 12:30 閉場
2 回目：13:00 開場 13:30 開演 15:30 閉場
3 回目：16:00 開場 16:30 開演 18:30 閉場

●大阪会場「KOKO PLAZA」（大阪府大阪市東淀川区東中島 1-13-13）

2026 年 10 月 29 日（木）

1 回目：10:00 開場 10:30 開演 12:30 閉場
2 回目：13:00 開場 13:30 開演 15:30 閉場
3 回目：16:00 開場 16:30 開演 18:30 閉場

参加方法：

事前にお申し込みが必要です。下記よりご希望の日時にお申し込み下さい。入場料は無料です。

https://jp.yamaha.com/news_events/2026/proaudio/ymj_pa_day_2.html

＊文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

＊掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：佐藤 圭 TEL. 050-3148-8660
ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン プロオーディオ・インフォメーションセンター
https://jp.yamaha.com/support/contacts/av_pa/（Web フォームよりお問い合わせが可能です）
